

平成 30 年 10 月 2 日（火曜日）



## 【足立敏之議員】インフラ整備水準「恥ずかしくないレベルに」

自由民主党の足立敏之参议院議員は、8月下旬に同期当選議員とともに訪れた台湾でインフラや都市再開発の現状を目の当たりにし「日本のインフラのレベルの低さ、国力の低下を感じた。インフラ整備の水準を世界的にも恥ずかしくないレベルに引き上げるべき」との考えを示した。

台湾では台北市中心街にある101階建ての超高層ビルや南部のダム、土砂災害の被災現場を視察した。2009年の豪雨による深層崩壊で大惨事に見舞われた高雄市少林村（現在は少林里）では「痛ましい災害を思い起こした」としながら「地球温暖化により日本でも起こるのではないかと。激甚化する水害・土砂災害に備えることが大切だと、あらためて感じた。警鐘を鳴らさなければならない」と強調する。また台湾でもダムの堆砂問題に取り組んでいることから「今後、技術交流を行う必要がある」と話す。



台湾の蔡英文総統（中央）と面会した足立議員（左から4人目）

足立議員は9月28日に開かれた自民党の災害対策本部の会合で、災害復旧や政府が進める重要インフラの緊急点検結果を踏まえた対応に向けて、大規模補正予算の必要性を訴えた。さらに現地で災害対応に頑張っている建設業者の仕事が円滑に進むように、災害復旧における入札契約で随意契約や指名競争方式適用の考え方を示したガイドラインの周知徹底、実情に合った適正な予定価格の設定を国へ要請した。